

第2回 能登半島地震奈良県被災地支援対策本部会議 議事概要

日時:令和6年2月14日(水) 11:40~12:00

場所:災害対策本部室

出席者:本部長(知事)、副本部長(副知事)、本部員(各部局長、教育長、警察本部長)他

1. 報告事項

- *令和6年能登半島地震の被災状況及び政府等の対応について
- *奈良県の被災地支援活動の概要について
 - ・現地リエゾン、カウンターパート支援概要(危機管理監)
 - ・保健師の活動概要(医療政策局長)
 - ・被災建築物応急危険度判定の活動概要(地域デザイン推進局長)
- *被災地支援を通じた被災地の課題共有について
 - ・高齢化率が高い地域や耐震化率が低い地域の家屋倒壊
 - ・孤立集落の多数発生や断水・停電の発生
 - ・災害関連死を防止するための2次避難の促進

2. 協議事項

- *被災地支援の今後の方向性について以下の項目が了承された。
 - ・全庁体制による被災地支援の継続
 - ・避難者対応を中心とした支援の継続
 - ・被災自治体の業務体制構築のための支援
 - ・県内市町村、国、全国知事会、関西広域連合等との連携
 - ・能登半島地震の支援を通じて得られる知見や課題を共有

3. 本部長(山下知事)発言要旨

- *当本部員の皆様には、発災以来迅速に対応いただき感謝する。
- *今後も、避難所の運営支援や避難者の健康確保は必要であり、さらに仮設住宅の建設支援等の業務が新たに生じてくると予想されるので、引き続き全庁体制で支援をしていきたい。
- *今回の能登半島地震の支援を通じて得られる知見や課題を共有して、本県の防災体制の充実・強化に活かしていく。
- *本県の広域的な受援体制を改めて検討・議論し、それを踏まえて、奈良県地域防災計画を改定していきたい。